

## 令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」受賞について

ギャラリーエークワッドの館長及び前館長が、令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞/理解増進部門」を受賞いたしました。

科学技術分野の文部科学大臣表彰は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術の水準の向上に寄与することを目的として、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を表彰するものです。理解増進部門は、その中でも青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行ったことを評価するものです。表彰式は2025年4月15日に文部科学省にて行われました。

### 【科学技術賞（理解増進部門）】

業績名：展覧会の継続による建築文化への理解増進と普及啓発

受賞者：岡部三知代 公益財団法人ギャラリーエークワッド館長

白川裕信（白川アトリエ代表）公益財団法人ギャラリーエークワッド前館長



表彰式会場の白川前館長、岡部館長（撮影：光齋昇馬）

### <受賞業績>

2005年に竹中工務店の企業ギャラリーとして創設され、2013年に公益認定を受けた。建築文化の発信を活動の基底に据え、自主企画による展覧会と関連するイベント（シンポジウム、ワークショップ、見学会、写真撮影会など）を中心に、建築文化を幅広く一般に普及させる目的の活動を続け、2025年に20周年を迎える。企画展は、建築文化を、技術やデザインだけでなく身近な環境や暮らしと結びつける独自の切り口で、国内外の社会事象との関連をテーマにし、開催を継続している。

本活動は、建築の分野から社会を読み解くテーマとして1. 歴史をひも解く、2.暮らしをデザインする、3. 豊かな社会を描く、4. 自然と共に暮らす、5. 観て触れて、五感で学ぶ、6. 人材を育てる、を挙げる。専門性の高い内容から、暮らしや住まいに関わる社会課題、見落とされてきた文化的文脈の掘り起こしなどを行い、多様で奥行きのある深い建築文化を、身近な話題と関連付けて見せるというユニークな活動を継続している。

本活動により、幅広い層が建築文化を身近に感じてもらうことで理解を醸成し、社会の関心の裾野を広げることに貢献してきた。参加者の年齢も幅広く次世代人材の育成に寄与している。

### <ギャラリーエークワッドの活動>

<https://www.a-quad.jp/>

### <お問い合わせ>

公益財団法人 ギャラリー エー クワッド

：ギャラリー エー クワッド事務局 TEL 03-6660-6011

[gallery@a-quad.jp](mailto:gallery@a-quad.jp)

### <関連リンク>

[令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者の決定等について\(文部科学省\)](#)